

東レ科学技術研究助成金受領者代表挨拶

東京科学大学難治疾患研究所教授 小 松 紀 子



僭越ではございますが、受領者 11 名を代表してご挨拶申し上げます。この度は由緒ある東レ科学技術研究助成金を頂き大変光栄に存じます。謹んで御礼と感謝を申し上げます。また私共を推薦してくださいました学会並びに推薦者の先生方、そして選考委員会の先生方に心より御礼申し上げます。

私の研究テーマを簡単に紹介させていただきます。免疫系は、病原体を排除し健康を維持するために重要な生体システムです。近年、線維芽細胞をはじめとする身体の構成細胞が、免疫細胞と密接に相互作用することで、組織の恒常性維持や破綻において重要な役割を果たすことが明らかになりつつあります。私の研究対象である関節リウマチは、もっとも罹患率の高い自己免疫疾患のひとつで、関節滑膜に存在する線維芽細胞が、免疫細胞と相互作用することで、関節の炎症と骨破壊を引き起こします。これまで私たちは骨破壊型の線維芽細胞の形成機構の解明に従事しておりましたが、疾患超早期に線維芽細胞がどのようにして病原性を獲得するのかは不明な点が多いです。本研究は、疾患と発症を規定しうる線維芽細胞の分化機構に着眼し、自己寛容の破綻における非免疫系の作動原理の解明を目指すもので、頂いた助成金は有効に活用させていただきます。また、私は昨年より東京科学大学に異動し、新たな研究室を立ち上げているところです。そのような時期にご支援いただけることは大変励みとなり心より感謝申し上げます。

私の研究は基礎研究ですが、本成果が新しい治療法の開発に繋がることを夢見て、研究に邁進する所存です。将来、最新の成果をご報告できればと願っております。本日は誠にありがとうございました。